

地域の安全・安心確保のために

1/5

大田原市建設業協同組合 通学路危険箇所調査

大田原市建設業協同組合において、10月7日に自転車通学路の危険箇所調査が実施され、調査結果および改善提案の報告がありました。

この調査は、地域貢献事業として同組合が始めたもので、第1回の今年度は金田南中学校の自転車通学路を対象に実施されました。「次年度以降継続的に調査・報告を行っていきたい」とのご意向でした。



1/13

子どもたちの読書活動を応援

大田原信用金庫図書購入寄附

大田原信用金庫から毎年寄附をいただいています。平成19年度から続く寄附金で購入した資料点数は5,027点になりました。

子どもたちが読書の楽しさや自ら読書を楽しむことのできる環境を充実させることを目的に、「だいしん文庫」として大田原図書館に設置されています。



新型コロナウイルス感染症対策のために

1/14

夢コーポレーション株式会社からの寄附

夢コーポレーション株式会社(夢屋 西那須野店)の地域貢献の一環として、西原小学校にサーモグラフィ4台と空気清浄器1台が寄贈されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために有効活用させていただきます。



1/18

熱中症予防対策を万全に

大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結

大田原市と大塚製薬株式会社は、地方創生にかかる包括連携協定を締結しました。熱中症予防対策などに知見をもつ同社と連携することで、市民の熱中症予防や健康寿命延伸などの健康づくり施策に取り組み、安全、安心かつ豊かな社会の実現を目指します。

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、締結式はインターネット回線を利用する「オンライン締結式」により実施しました。



市史編さんだより vol.5

現代部会調査速報②
～大田原市庁舎3代の歩み～

平成31年(2019)1月4日、3代目にあたる新たな市役所庁舎が開庁しました。今回は、初代から3代目庁舎までの歩みを写真で振り返ります。

昭和29年(1954)12月1日、大田原町・親園村・金田村が合併し大田原市が成立すると(翌年までに野崎村の一部および佐久山町を編入)、それまでの大田原町役場(明治年間築、木造2階建て)がそのまま初代市庁舎となりました。その場所は現在の大田原商工会議所駐車場(城山1丁目3番地内)にあたり、江戸時代には大田原城大手門前で城下に時報を告げる「時の鐘」が建っていた、公共性の高い場所でした。

合併後、行政規模の拡大により新たな庁舎が必要とされたことから、昭和38年(1963)には、大田原2715-2(現在市役所が建つ本町1丁目4番1号と同位置)に2代目市庁舎を建設し、市役所を移転しました。2代目庁舎には、約11,300㎡の敷地内に3階建ての事務棟が建てられ、2階建ての議場棟、平屋建ての車庫・運転手詰所などが併設されました。なお、初代庁舎の建物はその後、大田原商工会議所の事務所となり、昭和48年(1973)度まで存続しました。

平成23年(2011)3月11日、東日本大震災により2代目庁舎は大きく損壊しました。直後は、利用可能な市有施設や仮設庁舎で行政事務を行いましたが、市民生活も落ち着きを取り戻したところで、今後の災害対応や市民サービスの向上につなげるため、同じ位置に3代目庁舎を建設しました。

今回紹介した市庁舎3代の歩みは、近日創刊予定の『大田原市史研究』で、より詳しく紹介していますので、ぜひお手に取ってご覧ください。

(現代部会・市史編さん事務局)



初代市庁舎(昭和37年)



2代目市庁舎(昭和38年)



3代目市庁舎(令和元年)

問 文化振興課 本 4階
TEL (23) 3135

おおたわら令和の名木選 ⑫

問 農林整備課 本 4階 TEL (23) 8813

一年にわたりご紹介してきた「令和の名木」も今月で最後となりました。これまでにご紹介した名木は、その季節、その時々によってもさまざまな顔を見せてくれます。不要不急の外出自粛が必要な時期ではありますが、ちょっとした気分転換に自然と対話することも大切ではないかと思います。

さて、今月で紹介する樹木は、小山田宅のウメ(市野沢)、木佐美椿堂のヤブツバキ(木佐美)の2か所です。

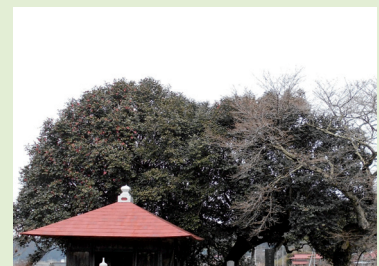
ウメは中国原産で古来から日本でも親しまれている樹木です。比較的温暖な気候を好むとされ、和歌山県の南高梅は高級梅干しでも有名です。小山田宅のウメは、樹高も大きく、枝ぶりも見事であり、足元に咲く菜の花と淡いピンクの梅の花は、故郷に穏やかな春を告げる風物詩ではないでしょうか。

また、ヤブツバキは、日本原産であり、青森県を自生の北限とし、本州、四国、九州に分布しております。このヤブツバキは、小さなお堂の隣にあり、お堂の中にはお地藏様が祀られています。このお地藏様の逸話について、さとうもと子さん(おもしろ語り部)のお話がホームページの「令和の名木」に掲載されていますので、ぜひ、視聴してみてください。なお、その年の気候にもよりますが、開花のタイミングが合えば椿と桜の競演が楽しめます。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

詳しい場所などは、ホームページをご覧ください。



小山田宅のウメ(市野沢)



木佐美椿堂のヤブツバキ(木佐美)

